



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月14日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル  
コード番号 2183 URL <https://www.linical.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩  
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582  
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,082	7.4	112	—	168	87.5	3	△95.4
2023年3月期第1四半期	2,868	3.0	△26	—	89	△36.0	76	13.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 419百万円 (△7.2%) 2023年3月期第1四半期 451百万円 (427.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	0.16	—
2023年3月期第1四半期	3.41	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	17,660	7,684	43.5	340.21
2023年3月期	17,464	7,581	43.4	335.65

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 7,684百万円 2023年3月期 7,581百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,300	6.3	1,400	11.4	1,400	9.1	1,008	0.4	44.63

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略していません。

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	24,740,000株	2023年3月期	24,740,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	2,153,564株	2023年3月期	2,153,564株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	22,586,436株	2023年3月期1Q	22,586,436株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、日本や欧州が前年同期比で減収となったものの、米国や韓国が大幅に増収となったことに加え、為替が円安に推移したこと等により、連結の売上高は増収となる3,082百万円（前年同期比7.4%増）となりました。利益面では、米国と韓国が好調なスタートを切って増益となったことに加え、日本も前期と同水準の利益を確保したこと等から営業利益は112百万円（前年同期は26百万円の営業損失）となりました。経常利益は外貨預金等により為替差益58百万円等が発生したため168百万円（前年同期比87.5%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に保険金の受取が発生したことに対して、今期は欧米子会社の経営管理体制の統合に伴う事業構造改善費用104百万円が発生したことから3百万円（前年同期比は95.4%減）となりました。

次に、各地域の状況は下記のとおりです。

日本においては、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され治験環境が改善し、順調に受注案件を消化し売上高を計上しているものの、第1四半期に既存案件の中止が発生したことにより前年同期比で減収となりました。利益面では経費の抑制等によりほぼ前期並みの水準を維持しました。日本の製薬企業からの引き合いは増加傾向にあり、足元では新規案件の獲得が進んでいるため、第2四半期以降に挽回できる見通しです。

米国においては、前年同四半期は米欧地域で大型国際共同治験の開始遅延があった一方で、当期は既存案件の進捗が想定を上回って推移したことに加え、為替が円安に推移したこと等により前年同期比で大幅に増収増益となりました。なお、現在米国のバイオテック企業から複数案件の打診を受けており、これらの案件獲得に向け交渉を継続しております。引き続き米国CRO市場の深耕に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

欧州においては、既存試験の中止や新規案件の開始延期に加え、既存試験の進捗が想定を下回ったこと等により前年同期比で減収、営業赤字となりました。欧州経済はロシアウクライナ戦争の長期化等に端を発するエネルギー価格の高騰や高インフレの継続や、これに対応する高金利から経済情勢悪化の懸念があることから、米国事業との連携をより一層推し進め、営業面でグローバル・シナジーをさらに強化することで、米国企業からの欧州を含む試験の受注獲得を拡大してまいります。

韓国においては、既存案件の好調な進捗や複数の新規案件の開始等に加え、円安の影響もあり前年同期比で大幅な増収増益となりました。

中国においては、既存案件の収束に伴う売上減少等により前年同期比で減収減益となりました。

台湾においては、既存案件で中止が発生したことや、新規案件の開始延期等の理由から前年同期比で減収、営業赤字となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①CRO事業

当社グループのCRO事業につきましては、売上高は2,892百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は622百万円（同65.2%増）と増収増益となりました。

②育薬事業

当社グループの育薬事業につきましては、売上高は189百万円（前年同期比23.4%減）、営業利益は37百万円（同52.4%減）と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ195百万円（1.1%）増加し、17,660百万円となりました。これは、主に現金及び預金が減少する一方、売掛金及び契約資産、並びに立替金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ92百万円（0.9%）増加し、9,976百万円となりました。これは、主に預り金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ102百万円（1.4%）増加し、7,684百万円となりました。これは、主に剰余金の配当により利益剰余金が減少したものの、円安により為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCROとの差別化を図ってまいります。

2024年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月15日に発表いたしました内容に変更はありません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。育薬事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

表. 受注残高の推移

(単位：百万円)

	2023年 3月期末 (A)	2024年3月期		増減率% (B-A)/A
		第1四半期末	2023年8月 14日時点(B)	
受注残高	20,933	21,189	20,641	△1.4
地域 別	日本	8,195	7,182	△12.4
	アメリカ	5,798	6,348	9.5
	ヨーロッパ	5,252	5,456	3.9
	アジア	1,686	1,653	△2.0

各地域の受注状況につきましては、以下のとおりです。

日本・アジア地域においては、日本において受注の積み上げはあったものの、新型コロナウイルス感染症が第5類に分類され治験環境が改善し、順調に受注案件を消化し売上高を計上した結果、受注残高が2023年3月期末から減少しました。なお、上記の受注残高には含まれておりませんが、受注内諾を受け契約締結作業中の複数の新規案件があります。その他にも複数の新規案件の打診を受けており、受注残高の積み上げに向け、営業活動を継続しております。

米国においては、引き続きバイオテックの開発意欲は旺盛で引き合いも多く、複数の新規案件の契約締結がなされたことに加え、円安の影響もあり受注残高が2023年3月期末から増加しました。また、受注内諾を受け、契約締結作業中で上記受注残高には含まれない新規案件をはじめとし、グローバル案件等の複数案件の打診を受けており、受注残高をさらに積み上げるべく、営業活動を継続しております。

欧州地域においては、円安の影響により受注残高が2023年3月期末から増加しました。欧州経済の減速見通しもあり今後の受注環境に不透明感がありますが、現在、複数の新規案件の打診を受け、受注の積み上げに向けた営業活動を継続しております。また、米国事業との連携をより一層推し進め、営業面でグローバル・シナジーをさらに強化することで、米国企業からの欧州を含む試験の受注獲得を拡大してまいります。

以上の受注環境のもと、2023年8月14日時点の受注残高は206億円となり、引き続き200億円を超える水準となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,042,100	6,264,833
売掛金及び契約資産	3,427,995	3,802,992
前払費用	243,216	196,838
立替金	1,037,607	1,413,268
その他	270,534	275,232
貸倒引当金	△12,786	△13,316
流動資産合計	12,008,667	11,939,848
固定資産		
有形固定資産	625,008	620,985
無形固定資産		
のれん	3,384,139	3,592,918
その他	127,054	135,355
無形固定資産合計	3,511,194	3,728,273
投資その他の資産		
投資有価証券	372,806	376,081
長期前払費用	999	498
差入保証金	374,096	382,887
繰延税金資産	571,835	611,651
投資その他の資産合計	1,319,737	1,371,119
固定資産合計	5,455,940	5,720,378
資産合計	17,464,607	17,660,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	539,976	539,976
未払金	579,604	541,644
未払費用	375,821	452,973
未払法人税等	311,502	157,407
未払消費税等	86,222	91,385
前受金	2,207,195	2,345,294
預り金	1,700,434	2,005,305
賞与引当金	159,922	81,843
その他	174,834	137,292
流動負債合計	6,735,513	6,953,122
固定負債		
長期借入金	1,993,590	1,858,596
リース債務	408,621	405,727
退職給付に係る負債	718,354	735,630
その他	27,313	23,103
固定負債合計	3,147,878	3,023,057
負債合計	9,883,392	9,976,179
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	214,043	214,043
利益剰余金	7,293,144	6,980,467
自己株式	△657,461	△657,461
株主資本合計	6,849,726	6,537,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,152	74,828
為替換算調整勘定	616,973	1,038,010
退職給付に係る調整累計額	36,362	34,160
その他の包括利益累計額合計	731,489	1,146,999
純資産合計	7,581,215	7,684,047
負債純資産合計	17,464,607	17,660,227

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,868,964	3,082,097
売上原価	2,138,867	2,134,705
売上総利益	730,097	947,392
販売費及び一般管理費	756,908	835,339
営業利益又は営業損失(△)	△26,810	112,052
営業外収益		
受取利息	91	3,991
為替差益	124,595	58,688
営業外収益合計	124,686	62,680
営業外費用		
支払利息	3,385	4,536
投資有価証券評価損	3,721	1,759
その他	921	-
営業外費用合計	8,027	6,296
経常利益	89,848	168,436
特別利益		
受取保険金	50,000	-
特別利益合計	50,000	-
特別損失		
事業構造改善費用	-	104,293
特別損失合計	-	104,293
税金等調整前四半期純利益	139,848	64,142
法人税、住民税及び事業税	37,557	64,897
法人税等調整額	25,330	△4,287
法人税等合計	62,887	60,609
四半期純利益	76,960	3,532
親会社株主に帰属する四半期純利益	76,960	3,532

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	76,960	3,532
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,018	△3,324
為替換算調整勘定	384,788	421,036
退職給付に係る調整額	△328	△2,202
その他の包括利益合計	374,441	415,509
四半期包括利益	451,402	419,042
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	451,402	419,042

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。